

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公表番号】特表 2002-514673(P2002-514673A)

【公表日】平成 14 年 5 月 21 日 (2002.5.21)

【出願番号】特願 2000-548405(P2000-548405)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/17 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/17

C 0 9 D 5/02

C 0 9 D 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 2 日 (2006.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 a . アミン反応性カルボニル基の繰り返し単位を有するポリマーを含むビニルポリマー成分、

b . 成分 C によってプロトン化することができる、少なくとも 2 個の、カルボニル基反応性アミン窒素を有する窒素含有化合物を含む架橋成分及び

c . 250 未満の沸点を有する有機酸を含む揮発性酸成分
を含んでなるラテックスポリマー組成物。

【請求項 2】 前記アミン反応性カルボニル基がアセトアセチルモノマー、ジアセトンアクリルアミド、(メタ)アクリロキシアルキルベンゾフェノン、(メタ)アクロレイン、クロトンアルデヒド、2-ブタノン(メタ)アクリレート及びこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 3】 前記アミン反応性カルボニル基がアセトアセチルモノマーを含む請求項 2 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 4】 前記アセトアセチルモノマーがアセトアセトキシエチル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシ(メチル)エチル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシプロピル(メタ)アクリレート、アリルアセトアセテート、アセトアセタミドエチル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシブチル(メタ)アクリレート、アセトアセトキシエチル(メタ)アクリルアミド、アセトアセタミドエチル(メタ)アクリルアミド及びこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項 3 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 5】 前記アミン反応性カルボニル基が、ポリマー中に存在するモノマーの合計量に基づき、0.5～100重量%の量で存在する請求項 4 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 6】 前記アミン反応性カルボニル基の繰り返し単位がポリマー成分 a の 0.5～99.5重量%の量で存在する請求項 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 7】 前記ポリマー成分が他のビニルモノマーを更に含む請求項 1 に記載の

ラテックスポリマー組成物。

【請求項 8】 前記他のビニルモノマーがアルキル（メタ）アクリレートを含む請求項 7 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 9】 前記他のビニルモノマーが、ポリマー中に存在するモノマーの合計量に基づいて、99.5～0.5重量%の量で存在する請求項 7 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 10】 前記架橋成分がエチレンジアミン、プロピレンジアミン、テトラメチレンジアミン、ペンタメチレンジアミン、ヘキサメチレンジアミン、ジエチレントリアミン、トリエチレントラミン、テトラエチレンペンタミン、ペンタエチレンヘキサミン、ポリエチレンイミン、ポリプロピレンイミン、エチレンオキシドアミン付加物、プロピレンオキシド付加物、シクロヘキサンジアミン、キシリレンジアミン、アミノトリメチルシクロヘキサジアミン、2,2,4-トリメチルヘキサンジアミン、2,2-ジメチルプロパンジアミン、トリアミノノナン、トリアミノエチルアミン、ジアミノエタノールアミン、ジアミノメチルシクロヘキサン及びこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 11】 前記揮発性酸成分が、ギ酸、酢酸、プロピオン酸、ブタン酸、ペンタン酸、ヘキサン酸、ヘプタン酸、オクタン酸及びこれらのそれぞれの異性体；シクロヘキサン酸；安息香酸；炭酸；炭酸塩及び重炭酸塩並びにこれらの混合物からなる群から選ばれる請求項 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

【請求項 12】 a. アミン反応性カルボニル基の繰り返し単位を有するポリマー成分、

b. 酸によってプロトン化することができる、少なくとも 2 個の、カルボニル基反応性アミン窒素を有する窒素含有化合物を含む架橋成分及び

c. 250 未満の沸点を有する有機酸を含む揮発性酸成分並びに

d. 水

を含んでなる水性ポリマー組成物。

【請求項 13】 アミン反応性カルボニル基の繰り返し単位を有するポリマーを含むポリマー成分に、酸によってプロトン化することができる、少なくとも 2 個の、カルボニル基反応性アミン窒素を有する窒素含有化合物を含む架橋成分及び 250 未満の沸点を有する有機酸を含む揮発性酸成分を添加することを
含んでなる潜在的架橋性ポリマー組成物を製造する方法。

【請求項 14】 アミン反応性カルボニル基の繰り返し単位を有するポリマーを含むポリマー成分、酸によってプロトン化することができる、少なくとも 2 個の、カルボニル基反応性アミン窒素を有する窒素含有化合物を含む架橋成分及び 250 未満の沸点を有する有機酸を含む揮発性酸成分を含んでなる
架橋した被覆。

【請求項 15】 前記ポリマー成分がアミン反応性カルボニル基の繰り返し単位を有し、前記架橋成分が酸によってプロトン化することができる、少なくとも 2 個の、カルボニル基反応性アミン窒素を有する窒素含有化合物を含み、そして前記揮発性酸成分が 250 未満の沸点を有する有機酸を含む請求項 14 に記載の架橋した被覆。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0095】

本発明を、その好ましい態様を特に参照して詳細に説明したが、変形及び修正が本発明の精神及び範囲内で実施できることはいうまでもない。

以下に本発明の態様を記載する。

1. a. アミン反応性カルボニル基の繰り返し単位を有するポリマー成分、

b . 酸によってプロトン化することができる、少なくとも 2 個の、カルボニル基反応性アミン窒素有する窒素含有化合物を含む架橋成分及び

c . 250 未満の沸点を有する有機酸を含む揮発性酸成分を含んでなるラテックスポリマー組成物。

2 . 前記ポリマー成分がアセトアセチル型モノマー、ジアセトンアクリルアミド、(メタ)アクリロキシアルキルベンゾフェノン、(メタ)アクロレイン、クロトンアルデヒド、2 - ブタノン(メタ)アクリレート及びこれらの混合物からなる群から選ばれる態様 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

3 . 前記架橋成分がエチレンジアミン、プロピレンジアミン、テトラメチレンジアミン、ペンタメチレンジアミン、ヘキサメチレンジアミン、ジエチレントリアミン、トリエチレンテトラミン、テトラエチレンペンタミン、ペンタエチレンヘキサミン、ポリエチレンイミン、ポリプロピレンイミン、エチレンオキシド付加物、プロピレンオキシド付加物、シクロヘキサレンジアミン、キシリレンジアミン、アミノトリメチルシクロヘキサジアミン、2, 2, 4 - トリメチルヘキサレンジアミン、2, 2 - ジメチルプロパンジアミン、トリアミノノナン、トリアミノエチルアミン、ジアミノエタノールアミン、ジアミノメチルシクロヘキサン及びこれらの混合物からなる群から選ばれる態様 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

4 . 前記揮発性酸成分が、ギ酸、酢酸、プロピオン酸、ブタン酸、ペンタン酸、ヘキサン酸、ヘプタン酸、オクタン酸及びこれらのそれぞれの異性体；シクロヘキサン酸；安息香酸；炭酸；炭酸塩及び重炭酸塩並びにこれらの混合物からなる群から選ばれる態様 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

5 . 前記ポリマー成分が他のビニルモノマーを更に含む態様 1 に記載のラテックスポリマー組成物。

6 . a . 態様 1 に記載のラテックスポリマー及び

b . 水

を含んでなる水性ポリマー組成物。

7 . 態様 6 に記載の水性ポリマー組成物並びに溶媒、顔料、緩衝剤、レベリング剤、レオロジー剤、硬化剤、フロー調節剤、増量剤、反応性凝集助剤、艶消剤、顔料湿潤剤、分散剤、界面活性剤、紫外(UV)吸収剤、UV光安定剤、脱泡剤、消泡剤、沈降防止剤、だれ止め剤、増粘剤、皮張り防止剤、色わかれ防止剤、色むら防止剤、殺菌剤、防かび剤、腐食防止剤、増粘剤、可塑剤、反応性可塑剤、乾燥剤、触媒、架橋剤及び凝集剤から選ばれる少なくとも 1 種の添加剤を含んでなる、建築用被覆、金属用被覆、木材用被覆、プラスチック用被覆、織物用被覆、セメント用被覆、紙用被覆、インキ及び接着剤から選ばれる被覆用配合物。

8 . 態様 1, 6 又は 7 に記載の架橋したポリマー組成物。

9 . ポリマー成分に、架橋成分及び揮発性酸成分を添加することを含んでなる、潜架橋性ポリマー組成物の製造方法。